

いちご調査方法

1 試験区ならびに調査対象株数及び面積

項目	必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積)*
試験区(1区当り)	20株(10株)	4.5㎡(2.3㎡)
調査対象(1区当り)	生育調査等	10株(5株)
	収量調査等	20株(10株)

*: 栽植密度を畝幅150cm×株間30cm、2条植え、a当り444株としたときの面積

2 耕種概要

項目	単位	備考
栽植密度	株数	2条植えが一般的
	畝幅	
	株間	
1区面積	(m ²)	
反復数	(反復)	
定植期	(月 日)	
土壌型		土耕栽培の場合、黒ボク土、台地土、低地土、泥炭土など
土性		土耕栽培の場合、砂壤土、壤土、埴壤土など
腐植		土耕栽培の場合、なし、あり、含む、富むなど
前作物		土耕栽培の場合
堆肥施用	(t/a、 月 日)	土耕栽培の場合
栽培槽	方式	高設栽培の場合、発泡スチロール製魚箱、プラスチック成型槽など
	大きさ	高設栽培の場合
培地の種類		高設栽培の場合
株当たり培地量	(L)	高設栽培の場合
灌水チューブの種類		高設栽培の場合
基肥量	N	(kg/a)
	P ₂ O ₅	(kg/a)
	K ₂ O	(kg/a)
追肥量	N	(kg/a)
	P ₂ O ₅	(kg/a)
	K ₂ O	(kg/a)
追肥施用日		(月 日、 月 日)
保温条件		ハウス、トンネル、マルチ、加温
除草剤・病虫害防除		(薬剤名、 月 日)

3 生育調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
定植時の苗質 *1	葉 数	展開葉の数	B	測定	枚	1
	草 丈	地際から最大葉の先端までの長さ	B	測定	cm	1
	葉柄長	最大葉の基部から小葉着生点までの長さ	B	測定	cm	0.1
	小葉身長	最大葉の中央の小葉のつけ根から先端までの長さ	B	測定	cm	0.1
	葉 幅	最大葉の中央の小葉の横方向の最大長	B	測定	cm	0.1
越冬前 *2 (10月15日頃の)	葉 数	展開葉の数	A	測定	枚	1
	草 丈	地際から最大葉の先端までの長さ	B	測定	cm	1
	葉柄長	最大葉の基部から小葉着生点までの長さ	A	測定	cm	0.1
	小葉身長	最大葉の中央の小葉のつけ根から先端までの長さ	A	測定	cm	0.1
	葉 幅	最大葉の中央の小葉の横方向の最大長	B	測定	cm	0.1
	クラウン径	最大径	A	測定	mm	1
腋芽数(越冬前、休眠後)		展葉のある芽の数	A	測定	本	1
開花始期		20%の株の開花を認めた日	A	観察	月日	1
収穫始期		商品果または相応する果実の収穫開始日	A	観察	月日	1
収穫始	葉 数	展開葉の数	A	測定	枚	1
	草 丈	地際から最大葉の先端までの長さ	B	測定	cm	1
	葉柄長	最大葉の基部から小葉着生点までの長さ	A	測定	cm	0.1
	小葉身長	最大葉の中央の小葉のつけ根から先端までの長さ	A	測定	cm	0.1
	葉 幅	最大葉の中央の小葉の横方向の最大長	B	測定	cm	0.1
	果房長	第1果房の基部から頂果のへたまで	B	測定	cm	1
収穫終	果房数		A	測定	本	1
	腋芽数	展葉のある芽の数	B	測定	本	1
草姿 *3		5:立性~1:開張性	B	観察	指数	1
ランナー数 *4		5:多~1:少	B	観察	指数	1
障害の発生程度		障害の種類(うどんこ病、疫病、ハダニ類など)別に 0:無 発生が認められない 1:微 10%未満の株に発生 2:少 10~20%未満の株に発生 3:多 20~40%未満の株に発生 4:甚 40%以上の株に発生	B	観察	指数	1

*1:春どり作型における調査、*2:夏秋どり作型では定植時調査、*3:農林水産省品種登録ホームページの「審査基準・特性表」一和名:いちご属、学名:Fragaria L.の「審査基準」-Ⅷ. 特性表の説明の「形質1 草姿」(P18)を参考にする、*4:採苗ではなく栽培管理の観点から評価

4 収量調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
収穫果数	規格内〔商品果〕	一果重7g以上の販売可能な果実 必要に応じて規格別に分類 旬別、合計	A	測定	個	1
	小果	一果重7g未満	B	測定	個	1
	障害果	優先順位 生理障害>病害>奇形>虫害	B	測定	個	1
	合計	旬別、合計	A	算出	個	1
	規格内率	(規格内収穫果数/総収穫果数)×100	B	算出	%	1
収量	規格内〔商品果〕	一果重7g以上の販売可能な果実 必要に応じて規格別に分類 旬別、合計	A	測定	kg	1g
	小果	一果重7g未満	B	測定	kg	1g
	障害果	優先順位 生理障害>病害>奇形>虫害	B	測定	kg	1g
	合計	旬別、合計	A	算出	kg	1g
	規格内率	(規格内収量/総収量)×100	A	算出	%	1
規格内平均一果重		規格内収量/規格内収穫果数 旬別、合計	A	算出	g	0.1
平均一果重		総収量/総収穫果数 旬別、合計	B	算出	g	0.1

5 果実品質調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
外観品質	果形*5	じん臓形、円錐形、心臓形、卵円形、円筒形、ひし形、扁球形、球形、楔形 など	B	観察		
	果皮色	暗赤、濃赤、赤、橙赤、橙、淡橙、桃白、黄白 など	B	観察		
	光沢	5:良~1:鈍	B	観察	指数	1
	外観総合	5:良~1:不良	A	観察	指数	1
果肉色		濃赤、赤、淡赤、橙赤、淡桃、白 など	B	観察		
空洞		5:無~1:大	B	観察	指数	1
食味	糖度	Brix	A	測定	%	0.1
	酸度	滴定酸度	B	測定	%	0.01
	糖酸比	糖度(Brix)/酸度	B	算出		0.1
	酸味	5:少~1:多	B	官能	指数	1
	硬さ	5:硬~1:軟	B	官能	指数	1
	香り	5:多~1:少	B	官能	指数	1
食味総合		5:良~1:不良	A	官能	指数	1
日持ち性		5:良~1:不良	B	観察	指数	1

*5:農林水産省品種登録ホームページの「審査基準・特性表」—和名:いちご属、学名:Fragaria L.の「審査基準」—Ⅷ. 特性表の説明の「形質37 果実の形」(P22)を参考にする

6 調査試験栽培上の留意点

- 1) 規格は地域での出荷基準に合わせる。
- 2) 果実品質調査は、収穫期間中2回以上実施する。
- 3) 草姿、果形の調査基準は、農林水産省品種登録ホームページの「農林水産植物種類別審査基準—いちご属」を参考にする。
- 4) 越冬前の生育調査について、改訂前(～平成24年)の調査要領では調査時期を9月30日頃としていたことから、データを比較する場合には注意する。